

プログラム 9 林業・山村文化の紹介

【活動事例】森林教育交流会(第4回)研修. 2018年12月3日(多摩森林科学園)

■ 概要

「期待する森林の機能」、「お山の杉の子の歌」、「金太郎の職業は何か」という3つの話題から、森林を身近に感じつつ、結果の予測や、意外な展開、知られていない情報にふれ、興味を抱いてもらいます。話題1では、森林の働きに関する基礎知識と、社会認識の確認から、森林に対するニーズの変化とその時代背景を知ります。話題2では、60歳代以上にはなじみ深い唱歌を思い出し、皆で歌ってもらいます。その歌詞に着目すると、昭和20年代前後の社会と森林とのつながりが見えてきます。現在の日本の森林はこの時代の価値観をもとに形づくられました。話題3では、日本人になじみのあるキャラクターの所持する道具(斧)に着目し、近世から明治期頃の伐採や木材加工にまつわるエピソード、さらには日本人が持つ独特の自然観、特に資源利用に際する謙虚な姿勢などを学ぶ契機とします。

これらの話題で視野を広げたのち、森林と人間との関わり方の多様さに気づき、改めて、森林資源の持続的な利用技術としての林業や、森林とともに暮らす知恵の累積である山村文化への関心を深め、ひとりひとりが持続可能な社会に近づく手掛かりを考えます。

■ 学習のねらい

- ① 森林、林業、山村についてのイメージに対して、もう一步踏み込んだ問いかけをし、多様な観点から関心を深め、社会とそれらの関わりを考える機会を提供する。
- ② 森林をだれがどう守るのか？ スギやヒノキの人工林は環境を悪化させているのか？

■ 所要時間 : 90分

■ 準備するもの

黒板(ホワイトボード)

教材(PC:パワーポイント)

小型のおの斧(裏表に3本、4本の刻みのあるもの)

解説資料 9



■ 活動の流れ

時間	主な活動	参加者の活動	道具, 材料	留意点
5分	全体説明			
20分	講義1 (話題1)	「あなたは森林に何を期待しますか?」という問いかけに答える。	国民が森林に期待する役割の変遷	森林の働きに関する基礎知識と, 社会認識の確認から森林に対するニーズの変化とその時代背景を知る。
20分	講義2 (話題2)	「お山の杉の子」の歌を一緒に歌う。	歌詞 皆伐後の写真	歌詞に着目して, 昭和20年代前後の社会と森林とのつながりが見えてくるよう誘う。
10分	休憩	休憩		
20分	講義3 (話題3)	金太郎の職業が何だったのかを考える。	斧(又は写真) 斧での伐倒動画 山 <small>やま</small> の神 <small>かみもろ</small> 詣での絵	所持する道具(斧)に着目し, かつての林業・製材技術さらに, 信仰や自然観を知る。
15分	まとめ	質疑応答	土壁, 板葺き屋根等写真	林業は持続可能な資源利用を支え, 山村文化はその知恵を継承してきたことを伝える。

解説資料 9

話題1. 「あなたは森林に何を期待しますか?」

- ・ 思いつく森林の機能を挙げてもらう。*森林の多面的機能
出てこなかった機能があれば, ヒントを出したり, 説明したりして補充する。
(世論調査の項目)「災害防止」, 「水源かんよう」, 「温暖化防止」, 「気象・騒音緩和」, 「動植物生息の場」, 「レクリエーション」, 「木材生産」, 「林産物生産」, 「野外教育」
- ・ 特に期待する機能は何? (世論調査における森林へ期待する働きについての変遷)
調査データを見て, 新たな気づきや関心を誘う。

(注目ポイント)

- ・ 時代を超え常に上位を占める「水源かんよう」, 「災害防止」, 「温暖化防止」
- ・ 時代で大きく変動する木材生産機能。その社会背景説明ができればなおよい。
- ・ 温暖化防止機能の高い森林は, どんな森林?

(まとめ)

一般的に森林の多様な機能は, 健全な状態の森林であれば総体的に発揮されるものと考えられている。ある機能に特化した森林造成は可能(木材生産のための人工林, 防風林など)。森林の働きと私たちの暮らしの関わりについて考察する。

話題2.「お山の杉の子」(この歌を知っていますか?)

- ・ 「お山の杉の子」の歌を紹介する。

(吉田テフ子作詞/サトウハチロー補作(戦後改作)・佐々木すぐる作曲)

昔々のその昔 椎の木林のすぐそばに 小さなお山があったとき あったとき

まるまる坊主のはげ山は いつでもみんなの笑いもの

「これこれ杉の子 起きなさい」 お日さまニコニコ 声かけた 声かけた ……

(歌詞の解説)

椎の木(シイノキ)林 → 西日本に多くあった二次林(旧薪炭林)。

はげ山 → 皆伐直後の裸地化した森林。

スギに対する視点 → 成長が早く、多用途である。資源的価値が高い。

(今とスギに対する評価が違う点に着目する)。

現在の森林は、昭和 20 年代前後の価値観や社会情勢のもとで形つくられた。

当時の社会背景が読みとれる(軍事需要, 燃料革命, 拡大造林など)。

- ・ 林業政策の時代変遷として、林業現場の様子を紹介する。

話題3. 金太郎の職業はなんでしょう?

- ・ 金太郎の<絵, 写真>を見せてから、金太郎の職業について考える。

*ヒント:いつも金太郎が持っている道具

マサカリ, 斧 刃広, <マサカリの写真(または実物)>

丸太を角に製材する「杣」 ソマという職種 杣角

手斧(チョウナ)で、はつり仕上げる。古い民家の柱は削った跡がある。



写真 9-1 斧の刻み

(斧の刻みについての解説)

3本と4本の刻みがある。森林の命をいただくためのお祓い儀式に使われた3本(お供物)と4本(地・水・火・風=世の中の構成要素)など(解釈は諸説あり)。

斧の刻みには、日本人の森林(自然)観が感じられる。

江戸時代は、太い木も斧1本で倒していた。<山の神絵図, 伐採絵図>

(林業・山村が継承してきた伝統的な森林利用の文化について紹介)。

エピソード:木曾ヒノキの盗伐対策として、「ヒノキ1本首一つ」と言われていた。

かつての農山村は、持続可能な循環型社会のモデルではないか。

(原島 幹典)